



2022年5月10日

各位

会社名 セイコーホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋 修司
(コード番号 8050 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役財務管理部長 瀧沢 観
(TEL 03-3563-2111)

2022年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年2月8日に公表した2022年3月期通期連結業績予想数値と実績との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異
(2021年4月1日～2022年3月31日)

(金額単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------|---------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| 前回業績予想 (A) | 235,000 | 7,000 | 7,500 | 4,000 | 96.99円 |
| 今回実績 (B) | 237,382 | 8,770 | 9,939 | 6,415 | 155.56円 |
| 増減額 (B-A) | 2,382 | 1,770 | 2,439 | 2,415 | — |
| 増減率 (%) | 1.0 | 25.3 | 32.5 | 60.4 | — |
| (ご参考)2021年3月期 | 202,671 | 2,194 | 633 | 3,475 | 84.30円 |

2. 業績予想数値と実績値との差異の理由

2022年3月期第4四半期につきましては、主としてウオッチ事業において「グランドセイコー」や「セイコー プロスペックス」等のグローバルブランドが、また電子デバイス事業において医療向け電池や水晶が好調に推移しました。さらには、為替差損益が改善し、法人税等が想定を下回った結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回りました。

以上